



# ims

## 通信



2025年 2月号

早咲きの梅が咲き始める季節となりました。皆様、いかがお過ごしですか。

「鬼は外、福は内」と豆まきが楽しい節分。  
最近では恵方巻を食べている方も多いのでは？  
2025年を迎え、鏡開きや成人式など  
年中行事が次々とやってくる時期になりましたが、  
注意したいのが、今年の節分の日付です。  
節分はいつ？ と聞くと“2月3日”を思い浮かべる方が多いかと思いますが、  
実は今年(2025年)の節分は“2月2日”なんです。ちょっと不思議ですよね。  
意外と知らない節分の日付の決め方や、今年の恵方について調べてみました！  
今年(2025年)の節分はどうして2月2日になるの？ 意外と知らない節分の日付の決め方  
そもそも“節分”ってどんなものなのか、ちょっと振り返ってみましょう。  
国立天文台の公式サイトによれば、節分は季節を分けるという意味の雑節で、  
本来は各季節の始まりである立春・立夏・立秋・立冬の  
前日それぞれを指すもので、そのうち立春の前日だけが残ったもの、なのだそう。  
つまり、節分は日付で決められているわけではなく、“立春の前日”を指すものなんです。ね。  
立春の日付が変われば、それに合わせて節分の日付も変わるといこと。  
では、なぜ立春の日付が変わるのか？ というと、  
これは“閏年(うるうどし)”を設けているのと同じ理由です。  
1年は365日と思いがちですが、国立天文台公式サイトによれば、  
地球が太陽のまわりを回るのに、実は365日+6時間弱かかっています。  
これでは、どんどん実際の季節と暦がズレていってしまいますよね。  
そのズレを防ぐために、4年に一度の閏年を設けて日数を調整しているわけですが、  
それに合わせて立春の日付も変わるといことですね。  
ちなみに、2021年の節分も2月2日だったのですが、覚えていましたか？  
そんな2025年の恵方はどっちだ!?  
さて、気になるのは2025年の“恵方”です。そもそも恵方というのは、  
“歳徳神(としとくじん)”という神様がいらっしゃる方角のことを指します。  
この方角はその年によって変わりますが、  
基本的に“東北東”、“西南西”、“南南東”、“北北西”の4パターンしかありません。  
今年の恵方は、**西南西**となっていますので、  
恵方巻きを食べる時に意識してみてください！

### 【七十二候】

七十二候(しちじゅうにこう)は、  
二十四節気をそれぞれ3つずつの季節に分けたもので1年では72の季節になります。  
自然に目を向けると、四季折々の季節の移り変わりを感じることができます！  
毎月一緒に季節の移り変わりを感じましょう！  
《今月の七十二候》2月3日 東風解凍(はるかぜこおりをとく)  
東風解凍(はるかぜこおりをとく)とは、周期的な低気圧の通過により、  
春の兆しとなる暖かい春の風が吹き始め、  
冬の間張りつめていた氷を少しずつ解かし始める頃。  
いよいよ春の暖かい足音が聞こえ始めてきました。

インスタ、ブログはじめました!!

ims 社員の日々の出来事やつぶやき、  
情報提供など様々な内容を配信しております。  
毎日更新中! 下記よりご覧いただけます!

ブログ



インスタ



災害時・緊急時含め弊社から  
情報提供をさせていただきます。

メールアドレス

ご登録の際は、

本文へお名前(フルネーム)をご入  
力下さい!

弊社HP



メールアドレス



〒239-0835 横須賀市佐原1-10-1  
有限会社 ims (アイエムエス)  
TEL:046-838-5522 FAX:046-838-5533